お客さま本位の業務運営に関する取組方針

J A グループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持 続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、「組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献する J A づくり」という経営理念のもと、 平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組 合員・利用者の皆様の安定的な資産形成・資産運用と「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じ た豊かな生活づくりに貢献するため、以下の取組方針を制定しました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため、本方針を必要に応じて見直してまいります。

なお、共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会が、共同で事業運営しております。

1. お客さまへの最適な商品提供、共済仕組み・サービスの提供

- (1) 金融商品
 - ① お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定いたします。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
 - ② 金融商品の選定にあたっては、お客さまの資産形成・資産運用に貢献するため、長期・積立・分散投資の多様なニーズにお応えできるよう、農林中央金庫が外部評価機関を活用し、定性・定量面から選定した金融商品(JAバンクセレクトファンド)を採用いたします。また、「JAバンクセレクトファンドマップ」を活用し、分かりやすく判断しやすい資材を提供いたします。
 - ③ お客さまの資産形成・資産運用に最適な商品提案をするため、税制優遇制度(NISA、つみたて NISA、iDeCo)を活用し、長期・積立・分散投資による長期的な視点で大切な資産を育てるお 手伝いをいたします。

また、お客さまとの対面での提案を大切にし、ニーズに合った商品提案に努めます。

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

(2) 共済仕組み・サービス

① 共済仕組み・サービスについて、当組合は、お客さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう最良の共済仕組み・サービスを提供します。なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み(例:外貨建て共済)は提供しておりません。

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) 金融の事業活動
 - ① お客さまの金融知識・経験・資産の状況およびお取引の目的に照らし、常にお客さまに最適な商品をご提案いたします。
 - ② 当組合は、総合事業の強みを発揮し、金融商品に限らずワンストップでの商品提供を行います。 またお客さまごとにライフイベントや金融知識・経験・資産の状況やニーズや目的等を一人一 人お伺いし、一緒に考え寄り添い、お客さまに最適な商品のご提案をいたします。
 - ③ お客さまにふさわしいサービスの提供
 - ア お客さまの資産形成・資産運用を効果的にサポートするため、ご自身でタイムリーに時価情報等を把握することができる「JAバンクアプリ」を投資ご契約者にご案内し、投資判断に必要な情報を幅広く提供するとともに、今後も必要な情報は随時ご説明し、資産形成・資産運用やライフプランを含めた生活の不安や悩みに対し真摯に向き合い、寄り添い、自分のこととして考えます。
 - イ お客さまに対しては、JAバンク独自の「資産運用ガイダンス」という資材を活用し、資産 形成・資産運用の必要性から運用手法までご理解いただけるように丁寧に分かりやすく説明 いたします。
 - ④ お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料・その他重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供いたします。
 - ア お客さまに資産形成・資産運用の必要性をお伝えすること以上に、資産を育てること、投 資そのものの魅力や楽しさを伝えていきます。わたしたちは、お客さまのニーズや利益に 沿う適切な商品を選定します。また、選定理由について十分な説明を行うことで、より信 頼され、永く愛される取引金融機関であり続けることを大切にしています。
 - イ お客さまの投資・商品選択の判断に資するよう、「JAバンクセレクトファンドマップ」を 活用し、商品のリスク特性について資材を提供するとともに、お客さま目線に立った分か りやすい説明に努めます。
 - ウ アフターフォローの訪問基準として、取引残高報告書の送付のタイミングを基準にご契約 者さまへお伺いし、財産の状況・投資目的・リスク許容度の変更等がないか丁寧に確認し てまいります。また、アフターフォローの際は、「各種報告書類の見方」や「月刊マーケットレター」等を活用し、分かりやすい説明に努めます。
 - ⑤ お客さまにご負担いただく手数料については、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。お客さまからいただく手数料や報酬は商品・サービスのご購入に関するアドバイスやアフターフォロー、運用コストなど、提供するサービスの対価として適正な水準に設定します。

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(2) 共済の事業活動

① お客さまのニーズに合った共済商品の提案

お客さまの加入目的、収入、資産や家族構成等に照らして、各種公的保険制度等にかかる情報 提供を行い、一人ひとりのライフプラン等に応じた、最適な保障内容・妥当な保障額の共済商 品をご提案します。

② お客さまのご意向等に基づく適切な商品提案の実施

保障設計書を使用して、お客さまのご意向を的確に把握・確認した上で、ライフプラン等に基づく適切な商品提案を行うとともに、保障の加入にあたっては、十分に保障内容を理解・ご納得いただけるよう、重要事項説明書を使用して、分かりやすい重要事項説明(契約概要・注意喚起事項)を行います。特に高齢のお客さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応に努めます。

③ お客さまに寄り添ったサポート活動の充実

全契約者への訪問活動(請求漏れの防止等)や、3年に1回の加入内容の確認・保障点検を実施し、地域に密着した活動を展開いたします。また、各種手続きの実施にあたっては、お客さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、日々の接点を通じてより安心と満足いただけるアフターフォローを提供いたします。

なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまにご負担いただく手数料等はございません。

【原則 2 本文および (注)、原則 4 、原則 5 本文および (注 1 \sim 5)、原則 6 本文および (注 1、2、4、5)】

3. 利益相反の適切な管理

(1) 商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理いたします。

JAグループでは、サービスの高度化を目指して、グループ会社や運用会社と共創に取組んでおります。利益相反の発生する可能性がある取引につきましては、利益相反管理方針に基づき適切に管理を行うとともに月次・年次の定期モニタリング等により適切に管理いたします。

【原則3本文および(注)】

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

(1) 研修による指導や資格取得の奨励を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築いたします。

お客さまへの最適な金融サービスの提供を行うため、専門性を有した人材の育成を図るととも に、資産形成・資産運用に精通した担当者を幅広く育てるため、各種研修会や勉強会を定期的 に開催するなど継続育成に努めます。

また、資産形成・資産運用は働く世代であるわたしたちにも必要なことであるため、自身の資 産形成を積極的に進め、金融リテラシーの向上に努めます。

【内外部研修·資格制度】

- ·資產形成·運用提案研修(対象:金融外務担当職員)
- · 証券外務員資格研修(対象: 金融担当職員)
- ·公的保障制度研修(対象:金融担当職員・共済外務担当職員)
- ・ライフアドバイザー認証要件研修(対象:共済担当職員)
- ·共済契約稅務研修(対象:共済担当職員)
- ・外部講師による研修および同行訪問(対象:共済担当職員)

【取得を推奨する外部資格】

- ・年金アドバイザー(対象:金融担当職員)
- · 証券外務員 1 種·2 種(対象: 金融担当職員)
- · 内部管理責任者(対象:管理職)
- ・FP2級・3級技能士(対象:金融担当職員)
- · 農業融資実務

【適正な事務処理および改善に向けた研修】

- ・金融窓口リーダー会(対象:金融担当職員)
- ·金融涉外担当者会(対象:金融担当職員)
- ・金融事務改善プロジェクト委員会(対象:金融担当職員)
- 共済窓口担当者会(対象:共済担当職員)
- ・共済事務改善プロジェクト会議(対象:共済担当職員)

また、組合員・利用者の皆様からの声(お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など)に真摯に 対応し、業務改善に取り組むとともに、組合員・利用者の皆様のニーズに沿った最適な金融商品 のご提案、共済仕組み・サービスをご提供できるよう、職員育成に取り組みます。

【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

5. お客さま本位の業務運営にかかる成果指標 (KPI)

(1) 当組合における「お客さま本位の業務運営」の取組状況をご確認いただけるように成果指標を 定期的に公表し、より良い業務運営につなげてまいります。

「お客さま本位の業務運営に関する取組み状況および KPI実績値の公表について」として、当組合のホームページに公表いたします。

【原則2本文および(注)】

(※)上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(202 1年1月改訂)との対応を示しています。

<u>お客さま本位の業務運営に関する取組状況および</u> K P I 実績値の公表について

J A グループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」(「比較可能な共通 K P I 」)も同時に公表いたします。

淡路日の出農業協同組合



1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの 多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	8 (前年度末:5)
株式型	5 (前年度末:5)	6 (前年度末:6)
REIT型	2 (前年度末:2)	3 (前年度末:3)
バランス型	(前年月	9 复末:9)

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債 投信は含んでおりません。

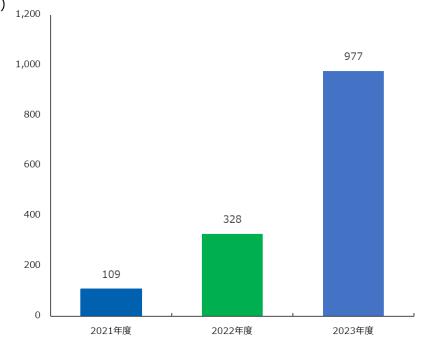
<商品選定の考え方>



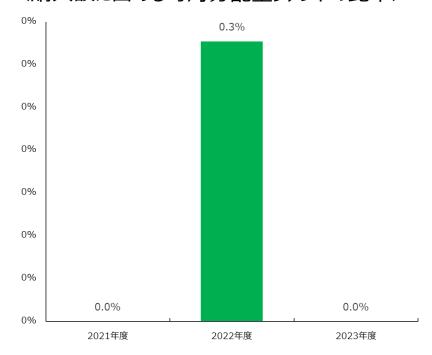


- 2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
 - お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率が低下いたしました。

< と く 投信 つみたて 契約件数の推移 >

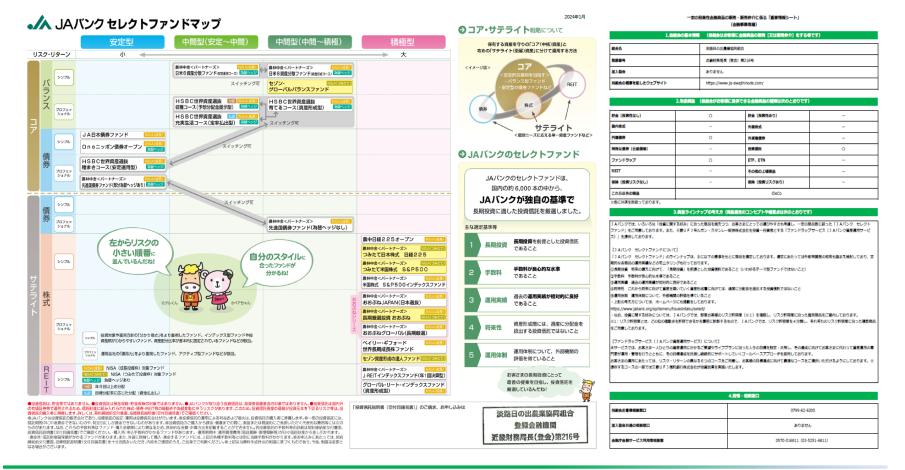


く購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>





- 2 お客さま本付のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
 - お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
 - なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。





3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- JAバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 投資信託販売店舗に対して定期的なモニタリングを実施し、お客さまに適正な投資勧誘が行われているか検証を行うことでお客さま本位の業務運営および金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針および各種法令諸規則を遵守するよう取り組んでおります。

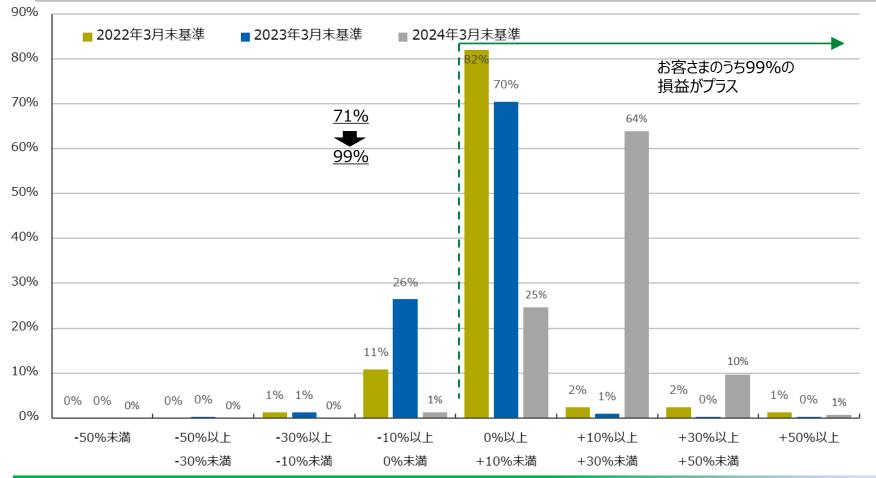
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および (注)、原則6 (注5)】

- J A バンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。
- 当組合では、金融業務に携わる全職員向けに研修会等を開催し、お客さま本位のご提案と情報 提供ができるよう、平素より知識習得および向上に努めております。
- 販売担当者への指導・助言等を行う職員を本店に配置し、お客さまの資産運用ニーズに応えられる人材を育成します。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

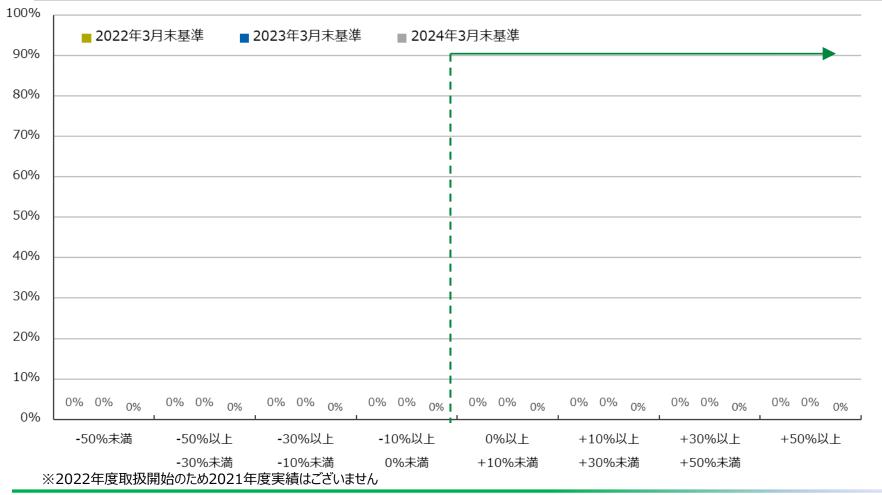
1 運用損益別顧客比率(投資信託)

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の99%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、お客さまの目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



1 運用損益別顧客比率(ファンドラップ)

• 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス(ファンドラップ)は、当組合では販売実績はございません。

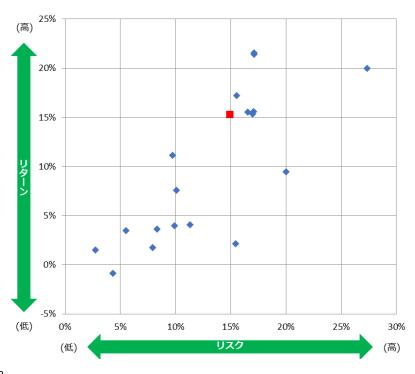


- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2024年3月末)
 - JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、 運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.03%、平均リスク14.91%に対して、 平均リターンは15.28%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

(高) 25% 20% 15% 15% 0% (低) -5% (低) -5% (高) 3%

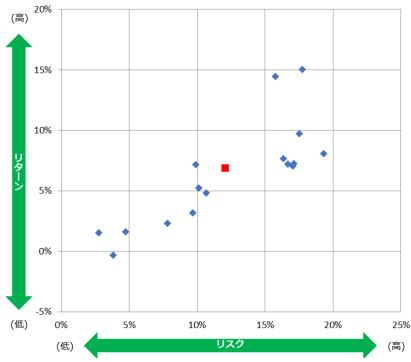
<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3) (2023年3月末)
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク12.07%に対して、 平均リターンは6.90%となりました。

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

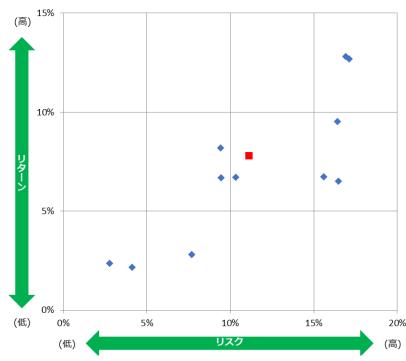
コスト

※赤い点は平均値を示しています。

- 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(3/3)(2022年3月末)
- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.26%、平均リスク11.12%に対して、 平均リターンは7.80%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/3)(2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
5	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
7	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
11	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
12	DIAM八ッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
13	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
14	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJアセットマネジメント(株)	3.47%	5.52%	1.71%
15	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	9.47%	20.01%	1.96%
16	J – R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
17	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
18	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		15.28%	14.91%	1.03%

^{※ 2024}年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は18本となります。



[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/3)(2023年3月末)

		運用会社	リターン	リスク	コスト
	ファンド名		(年率)	(年率)	全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
8	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
9	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	1.60%	4.75%	1.71%
10	J A 資産設計ファンド(積極型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.82%	10.66%	1.76%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
12	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
13	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
14	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
15	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.20%	16.67%	1.39%
16	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.90%	12.07%	1.13%

^{※ 2023}年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は16本となります。



[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 Κ Р Ⅰ

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン	リスク	コスト
			(年率)	(年率)	全体
1	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	DIAM八ッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
4	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	2.16%	4.12%	1.71%
5	One二ッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
6	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
7	JA資産設計ファンド(積極型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.72%	10.33%	1.76%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
9	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
10	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
11	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.80%	11.12%	1.26%

^{※ 2022}年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。



[※] 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。